



「総合的な探究の時間」を探究する ～各教科等の授業づくりをつなぐ架け橋に～

- ・ 実際に探究をどうフォローしていくかといったワークショップがあり、とても実践に結びつく内容でした。
- ・ 大人が学びを面白がり、日々学び続けることが土台になるなど改めて感じました。問いを持ち続けようと思います。
- ・ 「総合的な学習の時間」と「総合的な探究の時間」の違いを大変分かりやすく整理していただきました。探究とフィールドワークの関係性、教員のファシリテーションについて深く考える機会になりました。

「総合的な探究の時間」(総探)の活動で、
「生徒が主体的に課題を設定できない」、「調べ学習で終わってしまう」…
などのお悩みはありませんか？

● 講演

「生徒が真正面から社会課題にぶつかっていく『探究』とは」

【講師】岡崎 裕(和歌山大学 教授)

● 実践発表

「生徒の探究心を引き出すファシリテーション」

【発表校】府立夕陽丘高等学校

● ワークショップ

「生徒の心に火をつける探究課題のデザイン」

これまで自校になかった探究的な活動を、
様々な学校、様々な教科の先生方の知恵と経験を
持ち寄ってデザインしてみませんか！

